

2002 年 10 月

[1]平成 13 年度日本 I F T o M M 会議総会の報告

平成 13 年 6 月 22 日 (金) 工学院大学新宿校舎において総会が開かれ、平成 12 年度の事業報告、収支決算報告および監査報告、平成 13 年度の事業計画および収支予算の審議ならびに承認が行われた。主な議事、決定内容の詳細は下記の通りである。

．平成 12 年度事業報告

1 . 国際活動

- (1) 執行委員会 (2000 年 7 月 2 日 , Poland)
- (2) International Conference on Machine Automation (ICMA 2000)
(2000 年 9 月 27 日 ~ 29 日 , 大阪工業大学)

2 . 国内活動

- (1) 実行委員会を 4 回開催 (第 107 回 ~ 第 110 回 2000 年 5 月 , 10 月 , 11 月 ,
2001 年 3 月)
- (2) 第 6 回日本 IFToMM 会議シンポジウムを 2000 年 11 月 28 日に工学院大学
新宿校舎にて開催 .

3 . 会員の状況 (2001 年 4 月 1 日現在)

個人会員 : 103 名

賛助会員 : 5 団体

株式会社小笠原プレシジョンラボラトリー、太陽誘電株式会社
財団法人機械振興協会、株式会社東芝、日機装株式会社

・ 2000 年度収支決算報告（平成 12 年 4 月 1 日～平成 13 年 3 月 31 日）

1. 一般会計

収入の部

（単位：円）

項 目	予 算	決 算	備 考
会費収入（個人）	300,000	318,000	'95 3,000 × 1 '96 3,000 × 1 '97 3,000 × 2 '98 3,000 × 2 '99 3,000 × 15 2000 3,000 × 85
会費収入（賛助）	250,000	250,000	'99 50,000 × 1 2000 50,000 × 4
雑収入		379	
小 計	550,000	568,379	
前期繰越金	802,145	802,994	
合 計	1,352,145	1,371,373	

支出の部

（単位：円）

項 目	予 算	決 算	備 考
[国際活動費]	<u>246,400</u>	<u>253,000</u>	2001 年度会費 US\$ 2,000.00 × 124.25
IFTOMM 年会費	240,000	248,500	
送金手数料	5,400	4,500	
現地支払銀行手数料	1,000	0	
	<u>707,000</u>	<u>430,471</u>	
[国内活動費]			
会議費	100,000	19,500	
講演会費	300,000	100,000	
印刷通信費	100,000	199,902	
事務委託費	100,000	100,000	
郵便振替費	7,000	7,090	
予備費	50,000	3,979	
パンフレット印刷代	50,000	0	
[MMT 誌費]	<u>47,500</u>	<u>47,500</u>	9,500 × 5 (2000 Vol.35)
賛助会員購読料	47,500	47,500	(MMT 誌会計へ繰入れ)
小 計	1,000,900	730,971	
次期繰越金	351,245	640,402	
合 計	1,352,145	1,371,373	

2. MMT誌会計

収入の部

(単位：円)

項 目	予 算	決 算	備 考
MMT誌購読料収入 個人	199,500	219,000	500 × 1 ('99 Vol.34) (前年度不足分) 9,500 × 23 (2000 Vol.35)
賛 助	47,500	47,500	9,500 × 5 (2000 Vol.35) (一般会計から繰入れ)
小 計	247,000	266,500	
前期繰越金	96,417	96,417	
合 計	343,417	362,917	

支出の部

(単位：円)

項 目	予 算	決 算	備 考
出版社への支払	286,000	213,859	VOL. 35 (2000) NLG 178.00 × 26 名 × 46.21 = 4,628.00 × 46.21 (一冊単価：¥8,225)
通 信 費	4,000	6,000	
小 計	290,000	219,859	
次期繰越金	53,417	143,058	
合 計	343,417	362,917	

3. 準備金

- (1) 国際会議準備金 710,000
 (2) 国際交流活動準備金 400,000

合計 1,110,000

2000 年度監査報告

剰余金処分案

平成 13 年 3 月 31 日

(単位：円)

1. 当期末処理分剰余金		783,460
1. 前期繰越剰余金	899,411	
一般会計	802,994	
MM T 誌会計	96,417	
2. 当期収益金	- 115,951	
一般会計	- 162,592	
MM T 誌会計	46,641	
2. 剰余金処理額		
1. 国際会議準備金	0	0
2. 国際交流活動等準備金	0	0
3. 次期繰越剰余金		783,460
一般会計	640,402	
MM T 誌会計	143,058	

上記のとおり相違ありません。

平成 12 年 4 月

日本 IFToMM 会議
委員長 三浦 宏文
幹事 林 巖

上記の調査を遂げ、その正確であることを承認します。

監事 人見 宣輝

． 2001 年度事業計画案

1 . 国際活動

- (1) 11th World Congress (2003年8月 , 天津 , 中国)
- (2) Executive Council (2001年7月6日 ~ 7日 , Milano, Italy)

2 . 国内活動

- (1) 実行委員会を 4 回開催予定 (2001 年 5 月 , 10 月 , 11 月 , 2002 年 3 月)
- (2) 日本 IFToMM 会議シンポジウム開催予定
第 7 回 (2001 年 6 月 22 日) 工学院大学
- (3) 日本 IFToMM ニュースを年 1 回発行予定
- (4) 会員増強キャンペーンを行う .

・2001年度収支予算案(平成13年4月1日~平成14年3月31日)

1. 一般会計

収入の部

(単位:円)

項目	予算	備考
会費収入(個人)	300,000	2001 3,000 × 100(名)
会費収入(賛助)	250,000	2001 50,000 × 5(社)
小計	550,000	
前期繰越金	640,402	
合計	1,190,402	

支出の部

(単位:円)

項目	予算	備考
[国際活動費]	<u>246,400</u>	
IFTtoMM 年会費	240,000	2002 US\$ 2,000 (@120)
送金手数料	5,400	
現地支払銀行手数料	1,000	
[国内活動費]	<u>707,000</u>	
会議費	50,000	
講演会費	250,000	
印刷通信費	200,000	
事務委託費	100,000	
予備費	50,000	
パンフレット印刷代	50,000	
郵便振替費	7,000	
[MMT誌費]	<u>47,500</u>	
賛助会員購読料	47,500	9,500 × 5 (2001 Vol. 36)
国際会議準備金積立	0	(MMT誌会計へ繰入れ)
小計	1,000,900	
次期繰越金	189,502	
合計	1,190,402	

2. MMT誌会計

収入の部

(単位：円)

項目	予算	備考
[MMT誌購読料収入]		
個人	237,500	VOL. 36 (2001) 9,500 × 25
賛助	47,500	9,500 × 5 (一般会計から繰入れ)
小計	285,000	
前期繰越金	143,058	
合計	428,058	

支出の部

(単位：円)

項目	予算	備考
出版社への支払	285,000	VOL. 36 (2001) 9,500 × 30 (冊)
送金手数料	6,000	
小計	291,000	
次期繰越金	137,058	
合計	428,058	

3. 準備金

- (1) 国際会議準備金 710,000
 (2) 国際交流活動準備金 400,000

合計 1,110,000

[2]第7回日本IFToMM会議シンポジウムの報告

総会に先立ち、下記の要領で第7回のシンポジウムが開催された。前回の第6回に続くもので、会員の自主的参加によるThe Theory of Machines and Mechanismsに関する講演で、討論重視の方針も踏襲された。発表件数も10件を5セッションに分け、1件につき発表時間15分、討論5分で行われた。シンポジウムの参加者は約50名で、講演前刷集が参加者と会員に無料で配布された。

第7回日本IFToMM会議シンポジウムプログラム

日 時：2001年6月22日(金) 13:00～

場 所：工学院大学(新宿校舎)28階第4会議室

発表テーマ

セッション1：マニピュレータ・リンクの運動解析と制御 座長 林 巖(東工大)

1. 冗長複ループ空間マニピュレータの運動解析
岩附 信行(東工大), 林 巖, 森川 広一, 川崎 格(ソニー)
2. キャスティングマニピュレーションにおける高速投射の研究
投射法の提案とその投射性能の評価)
泉 慎介(東工大院), 武田 行生, 舟橋 宏明(芝浦工大)
樋口 勝(東工大), 有隅 仁(産業技術総合研究所)
3. 広角化空間7Rリンク等速継手の運動特性解析
南後 淳(山形大), 志津 慶剛

セッション2：機構と要素 座長 人見 宣輝(高エネ研)

4. 転がり球面軸受の静負荷容量および静剛性
市川 和樹(東工大院), 武田 行生, 舟橋 宏明(芝浦工大)
廣瀬 和也(ヒーハイス精工)
5. 異型螺旋の球状刃物による加工干渉防止 - ボールエンドミルによる金型加工 -
小西 義昭(日機装)
6. 球状容積型ポンプ機構 - 構造と性能上の特徴 -
川上 亨(川上製作所)

セッション3：振動とその応用 座長 小西 義昭(日機装)

7. 調和弾性波動場を発生する人工震源装置アクロスの開発
- 東京大学地震研究所の弥生1号, 2号について -
大竹 雄次(東大), 東原 紘道
8. クランク軸系のねじり振動と実働応力に関する研究
山内 孝宏(武蔵工大院), 大石 久己(工学院大)

セッション4：ロボット 座長 武田 行生(東工大)

9. 人間形発話ロボットの開発による母音および子音発声の実現
西川 員史(早大), 小河原 隆行, 今井 彰浩, 高信 英明(工学院大),
高西 淳夫(早大)
10. 3次元フレキシブルアクチュエータのロボットへの応用
井出 寿治(工学院大), 塩澤 重章, 八木 慎太郎, 柳沢 隆志, 三浦 宏文

2001 年度日本 IFToMM 会議実行委員会委員

委員長	三浦 宏文	工学院大学
副委員長	舟橋 宏明 吉本 堅一	芝浦工業大学 防衛大学校
委員	板生 清 伊能 教夫 内山 勝 大石 久己 大輪 武司 笠原 章裕 梶谷 誠 加藤 正名 川島 忠雄 木村 康治 久保 愛三 五嶋 裕之 小西 義昭 斉藤 之男 高西 淳夫 高増 潔 谷江 和雄 中田 毅 中村 仁彦 林 巖 林 輝 樋口 俊郎 福田 敏男 堀 幸夫 山川 新二	東京大学 東京工業大学 東北大学 工学院大学 ㈱東芝 ㈱東芝 電気通信大学 秋田県立大学 東京電機大学 東京工業大学 京都大学 (財)機械振興協会 日機装(株) 東京電機大学 早稲田大学 東京大学 産業技術総合研究所 東京電機大学 東京大学 東京工業大学 桐蔭学園横浜大学 東京大学 名古屋大学 金沢工業大学 工学院大学
監事	人見 宣輝	高エネルギー加速器研究機構